



No.8  
2015年12月22日  
発行  
静岡市  
平和委員会  
静岡市葵区鷹匠  
1-5-8  
TEL 253-1854  
FAX 252-0785  
メール  
Peace-City  
@mail.707.to

# 戦争法廃止 二千万署名の本格的な行動を！

日本国憲法が公布された  
11月3日を期して、「戦争  
法の廃止  
を求める  
統一署名」  
(二千万  
署名)が  
全国でいっ  
せいに取  
り組まれ  
ています。

して、また、来年夏の参議  
院選挙での野党共闘を後押  
しするものとして全国に呼  
びかけました。文字どおり  
の総がかりでこの署名運動  
に取り組みましょう。

全国総  
がかり行  
動実行委  
員会は、  
この署名  
運動を、  
戦争法の  
廃止を求  
める運動  
や世論の  
高まりを  
可視化す  
るものと

## 平和委員会の 取り組み

静岡県平和委員会は、1  
万5千筆という目標を決め  
ました。  
静岡市平和委員会も1月  
の総会で目標を決めたいと  
す。  
また、左記の共同  
行動にも平和委員と  
して積極的に参加さ  
れるようお願いしま

思います。それまで  
に一人10筆以上を獲  
得してください。

戦争法廃止を目ざす他団体との共同行動		
毎月	時間	場所/団体名
9日	12~13時	青葉公園/静岡市憲法9条の会連絡会 静岡駅周辺/共同センター、革新懇など
19日	夕刻より 街頭宣伝署名活動 18時30分より パレード	青葉公園から葵タワー 憲法共同センター/弁護士9条の会 静岡大学有志の会 静岡市憲法9条の会連絡会の共催
29日	12~13時	109前/共同センター、革新懇など

※19日以外は、土日にあたる場合は金曜日または月曜日に移動します。  
雨天の場合は、静岡駅地下道  
12月29日は、27日(金)12~13時、109前で実施します。

## サンタさんが 平和を呼びかけた！



↑署名をお願いしている平和委員

12月9日(水)昼休み、青  
葉公園で、静岡市憲法9条連  
絡会、新婦人、YWCAなど  
が、戦争法廃止を求める宣伝  
署名行動に取り組みました。

クリスマスのある12月はサン  
タさんの月、参加者はサンタ  
さんの服装で宣伝し、二千万  
署名への協力を訴えました。  
また、YWCAの参加者は、  
きれいな絵はがきをプレゼン  
トしていました。  
一時間の行動で78筆の署名  
が寄せられました。参加者は  
21人。12月27日、1月9日の  
行動には、より多くの平和委  
員の参加をお願いします。

合戸政治

## 海の銃剣とブルドーザー



政府は、警視庁機動隊まで動員して沖  
縄県辺野古基地建設の本体工事を強行的  
に再開した。翁長知事は、沖縄への新基  
地押し付けを、米軍占領時代と重ねて「海上での銃剣と  
ブルドーザーだ」と糾弾した。

翁長知事の「埋め立て承認取り消し」に対する行政不  
服審査法の悪用、地方自治法に背く「代執行」を求める  
訴訟など、沖縄の民意を無視する政府のやり方は、あま  
りにも強引だ。戦後アメリカの統治下に置かれた沖縄県  
民は、日本から切り離されて無国籍人とされた。そして、  
米軍基地のために多くの土地を奪われてきた。翁長知事  
はこのような歴史を背負って沖縄のアイデンティティー  
を主張し続けているのだと思う。明治の琉球処分や本土  
の犠牲となった太平洋戦争の沖縄戦を持ち出すまでもない。

昨夏の英スコットランドの英国からの独立の賛否を問  
う住民投票の時に、この選挙戦を沖縄のメディアや大学  
研究者らが現地視察していた。私は、沖縄独立論の是非  
については判断しきれないが、気持ちはとてもよく分かる。  
合戸政治

## 「戦争法」廃止まであきらめない

私の住む静岡市北部の  
山間地でも、全国の運動  
に励まされ、スタンディ  
ング行動を19日に行っ  
ている。「戦争法廃止」の  
日まで続けようという声  
かけ合いながら、このよ  
うな行動運動が静岡市  
域に広がることも期待  
しながら、  
新村直樹

も若い労働者、  
学生が力を発揮  
岸内閣を打倒し  
た。この時と比  
べると今回の運  
動は、立ち下が  
た若者や母親が  
自分の意志と意  
思で行動してい  
る、誰彼に指示  
強制されるので  
なく、60年の時  
は、労働組合の  
動員、学生自治  
会執行部の指示  
での動きという  
側面が強かった。



9月19日、「戦争法」(安保法)が強制

切り絵 鈴木正



下記の『一将功をなすために、万骨を枯らすな!』は、1968年に小笠郡佐倉村（当時）を中心とする地域に配られた訴えです。その3年後に浜岡原発1号機の工事の着工。8年後に稼働。47年前の訴えです。そして、3.11。「原発について語ることはタブーだ」と、地元の方は言いました。

その間47年、私たちの目はどこ、なにをみていたのでしょうか。「いざなぎ景気」に酔っていたのでしょうか。反ベトナム戦争で心いっぱいだったのでしょうか。再稼働がうわさされる今、私たちの目はどこに向けられているのでしょうか。

鈴木正

# 一将功をなすために、万骨を枯らすな!

## バカもいいかげんに。

「あの土地価格をまひてショックを受けた」という人もいたし、「人をバカにするにもいいかげんに」と怒った人もいたのです。

「そんなに安く売れるもんか」という人もありました。そのことはいろいろでしたが、しかし、このことは中電の示す価格に「期待」をかけていたから「ショック」だったり、「怒り」になったのではないのでしょうか。

この提示価格を見てハッキリしたことは、中電が、口先では「敬愛」とか、「地元民のなごみ」とかとうまいことをならべたて、いながら、八方の底ではせこまちらつめせて安く買っただけ——というやり方の片一歩ではないのでしょうか。

誰にも、もうはつきりしてしまいました。はじめは安く、だんだん買上げ価格を今よりも倍増し、それが「敬愛」だなどとひけらかし、たまたまは町民の税金でおまねいなさい、間に合わなければ利子付きで貸してあげるよ（加化成が富士市でやった例）というやりかたが、大資本のいつもの手なのです。

又、交渉の中でうわさぬ価格をどれだけとるか。それが町のオコエ方のおまがらびということになる——とそこまで計算はしてあるらしい。町長が返上したといふことは、~~ある~~。——と私たちは言いきれる理由がある。なんと農家を小馬鹿にした態度なのでしょう。

こんな騙子だと原子炉の安全対策も、たいへんあぶない。安く仕上げてもらうためには住民のことなどがまったものではないという中電の考え方がよくわかるではありませんか。

## 土地を売った農家は。

たとえば平塚市で三共製薬に八万坪を八億円で売った二四五戸の農家のアンケートでは三年半でそろそろ消費され、農家の一割は全額を、上この農家は70%

%を使い果たしてしまっただ。85%の農家は「売る気はなかつたが市の開発のためだ」といわれて仕方なく売ってしまったのです。その時は坪一万二千円という金にも引きつけられたが今は「土地をとりた」気がしているのです。

飯沼市のいすゞ工場（四万坪、十三億円）に土地を売った農家の村めいは、一年半後の調査で、すでに土を家の新築や生活消費に失っているのです。ここでは工場との間に「地主は優先的にやろう」という契約もあつたのに新採用工員二千数百名のうち、地元ではたった70人、それも二十才台で臨時工。三十才代が数億圓四十才以上は一人もとられぬ。結局「土地代金」という退職金をもらった失業者となった。

## 土地は末代、金はひととま

こうしてみると、世の中にかうまいはなるといふことはありません。

神主伝来、血と汗のしみこんだ土地を手放し、このインフレで、だんたん金のネウチが下がる時代に「土地代金」をにぎった失業者になるはずはありません。

一月二十七日夜急ぎにきて理地関係をした東海村原子力研究所の中島博士（副主任研究員）は中電の従業員はせいぜい百三十人位でしょう。しかも、これらの従業員は私の働いている研究所の研究生のような人たちが集められるので、かつつの会社のように、地元民を雇うということは考えられない——と語っています。

そして又、東海村の村民として今日、東海村が地帯整備のために赤字財政であり、村民税は法律で定められた限度最高を征收されており、公営問題は依然として向後であるなど語られたのです。

土地のない農民——一体どうして生きていけといふのでしよう。

物価はあがり、金の価値は年ごとにさがっていきます。どの経済学者も、このインフレ状況は、もっともつよまり、切く人々にはまじりの時代がくることを警告しています。

まづはりと町当局へ原発白紙返上を申出た十二月のよう

いも一度勇気を出して問題とどろくみましよう

一九六八・二・八

浜岡町原余良村対策会議